

# 「仕事と介護の両立支援」 従業員アンケート調査報告書

---

～介護離職を防ぐために～

2017年1月



## 目次

### **I. 調査概要**

1. 実施概要
2. 調査者
3. 調査項目
4. 分析

### **II. 調査結果詳細**

1. 回答企業の概要
2. 職員の介護経験
3. 介護に対する考え方
4. 介護と仕事の両立について
5. 介護の基本的な知識について

### **III. 調査結果の概要**

1. アンケート調査より
2. 仕事と介護の両立支援に関する取組み

# I. 調査概要

## 1. 実施概要

調査方法	アンケート
調査対象社員	1157名（京都府企業20社）
調査時期	2016年10月～2017年1月

## 2. 調査者

調査者 株式会社ユメコム

## 3. 調査項目

調査結果参照

## 4. 分析

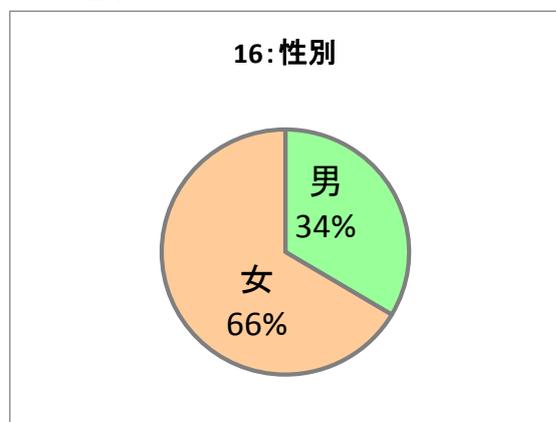
単純集計

# II. 調査結果詳細

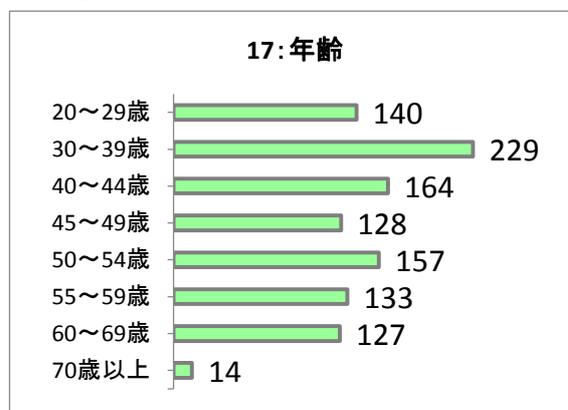
本調査にご回答いただいた従業員は、30代が最も多い。また、介護世代である40代～60代は全体の64.9%にのぼる。

## 1. 回答企業の概要（回答数n=1157）

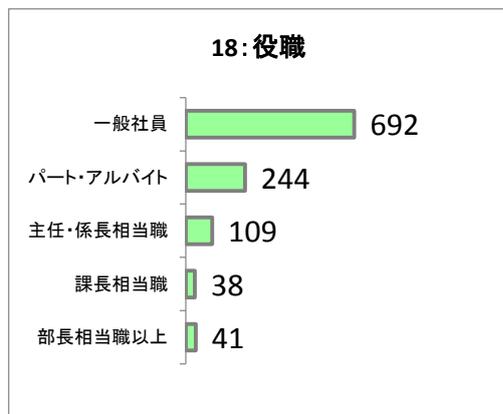
性別



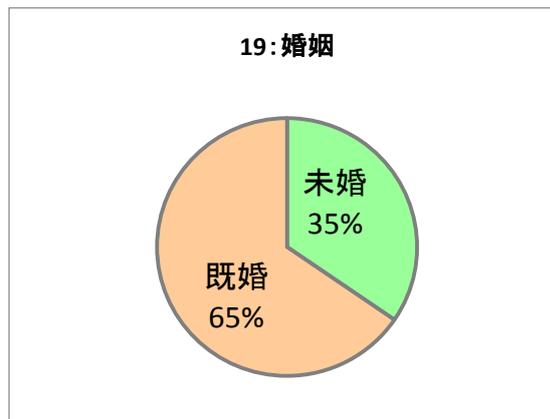
年齢



## 役職

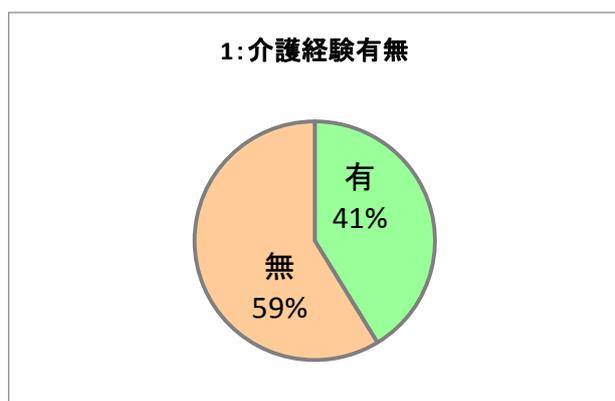


## 婚姻



## 2. 職員の介護経験

Q1: あなたは介護をした経験がありますか。



【Q1で「有」と回答した方にお伺いします】

Q2: あなたは現在も介護をしていますか。

現在もしている	166
現在はしていない	311
計	477

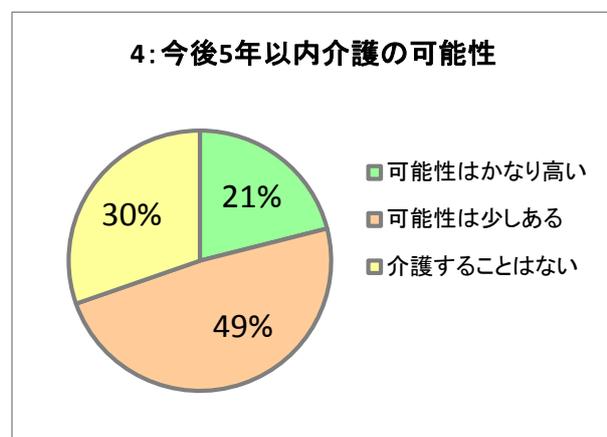
【Q2で「現在も介護をしている」と回答した方にお伺いします】

Q3: あなたはご自分が介護に関わっていることを、勤務先の方に話したり相談したりしていますか。主に相談等をしている方についてお答えください。

1. 同じ職場の上司 62名
2. 同じ職場の同僚 61名
3. 同じ職場の部下 4名
4. 同じ勤務先だが別の職場の先輩や友人など 9名
5. 勤務先の人事総務の担当者 1名
8. 勤務先で話したり相談したりしている人はいない 27名

【Q1で「2. 介護を経験したことがない」もしくはQ2で「2. 現在は介護をしていない」と回答した方にお伺いします】

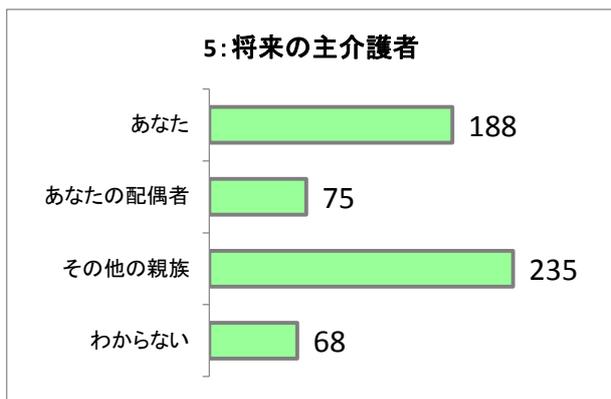
Q4: あなたは今後5年間のうちに、ご家族・親族を介護する可能性はありますか。



可能性はかなり高い	205	69.6%
可能性は少しある	474	
介護することはない	296	30.4%
計	975	

【Q3 で回答された方、Q4 で「1. 介護する可能性がかなり高い」もしくは「2. 介護する可能性が少しある」と回答した方にお伺いします】

Q5: 現在主に介護をしているのはどなたですか。将来介護する可能性がある方は、どなたが主に介護することになりそうですか。介護を要する方が複数いる場合は、あなたと最も関わりが深い介護についてお答えください。

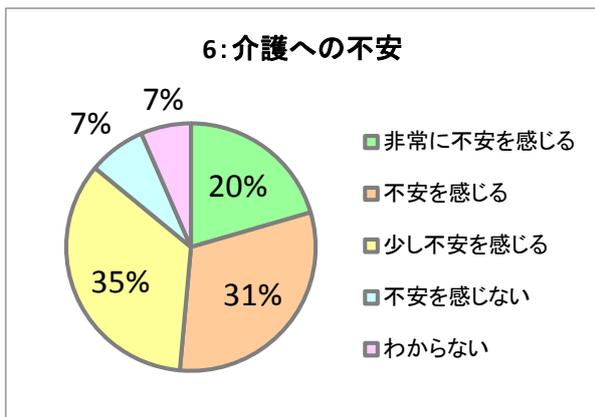


主介護者が「あなた」と答えた人の年齢別

20代 8名  
 30代 24名  
 40代 51名  
 50代 81名  
 60代 18名  
 70代 2名  
 年代無回答 4名

### 3. 介護に対する考え方

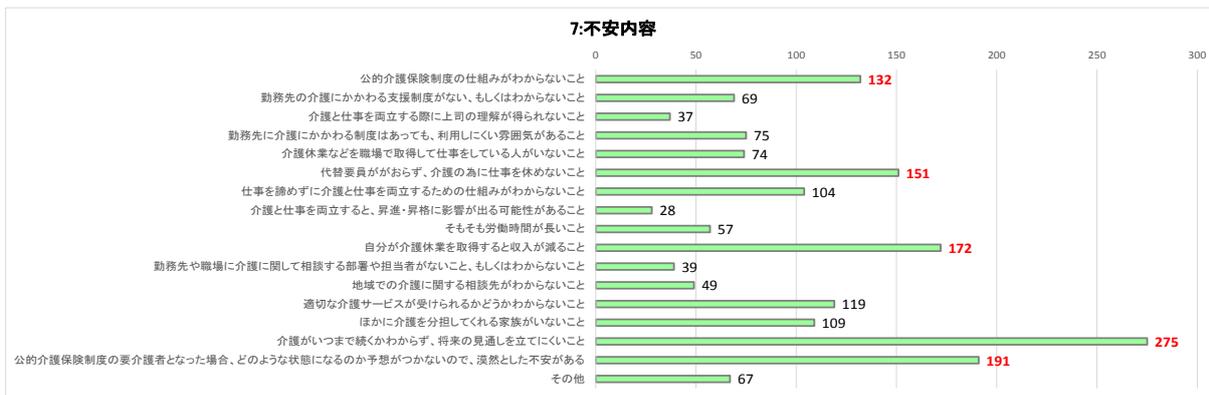
Q6: 介護することについて、どの程度の不安を感じますか。



不安を感じる従業員 86%

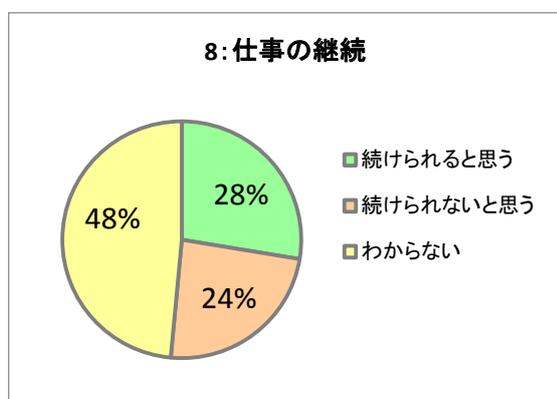
【Q3 で回答された方、Q4 で「1. 介護する可能性がかなり高い」もしくは「2. 介護する可能性が少しある」と回答した方にお伺いします】

Q7: 介護に関する不安は、具体的にどのような不安ですか。



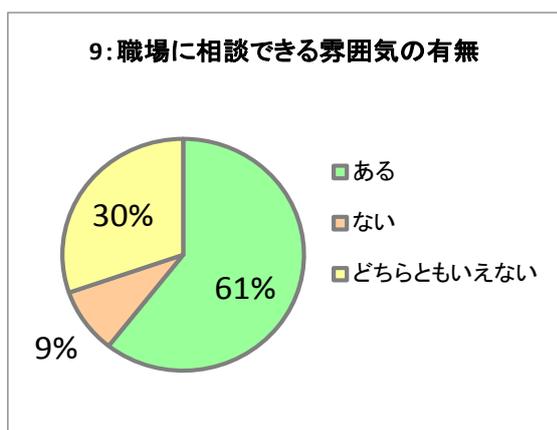
#### 4. 介護と仕事の両立について

Q8：介護をしながら、現在の勤務先で仕事を続けることが出来ると思いますか。

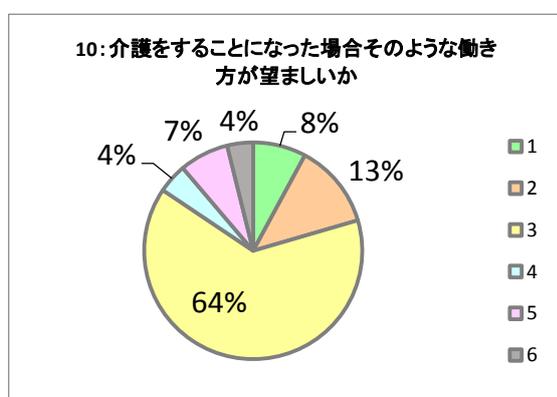


**続けられると思うと答えた方 28%**

Q9：介護の事について、職場の上司や同僚に話したり、相談したりできる雰囲気  
が、職場にありますか。



Q10：あなたが介護することになった場合、どのような働き方が望ましいと思いま  
すか。



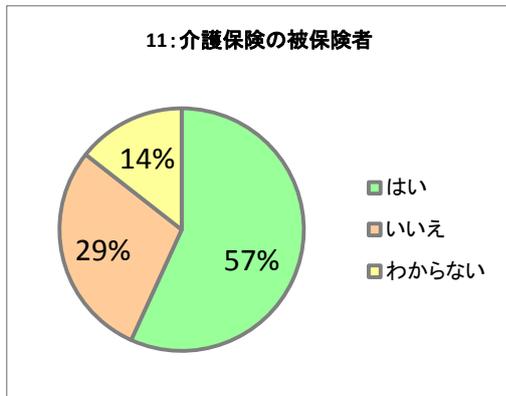
##### 【左記項目】

1. 今の仕事を辞めて介護に専念する
2. 介護が必要な時期は休業制度を利用して自分が介護をして、その後仕事に復帰する
3. 介護休業や介護のための短時間勤務などの支援制度を利用しつつ、できるだけ普通に働き続けながら、仕事と介護を両立する
4. 介護のための支援制度を利用せずに、年次有給休暇などで対処する
5. 仕事の仕方を特に変えない
6. その他

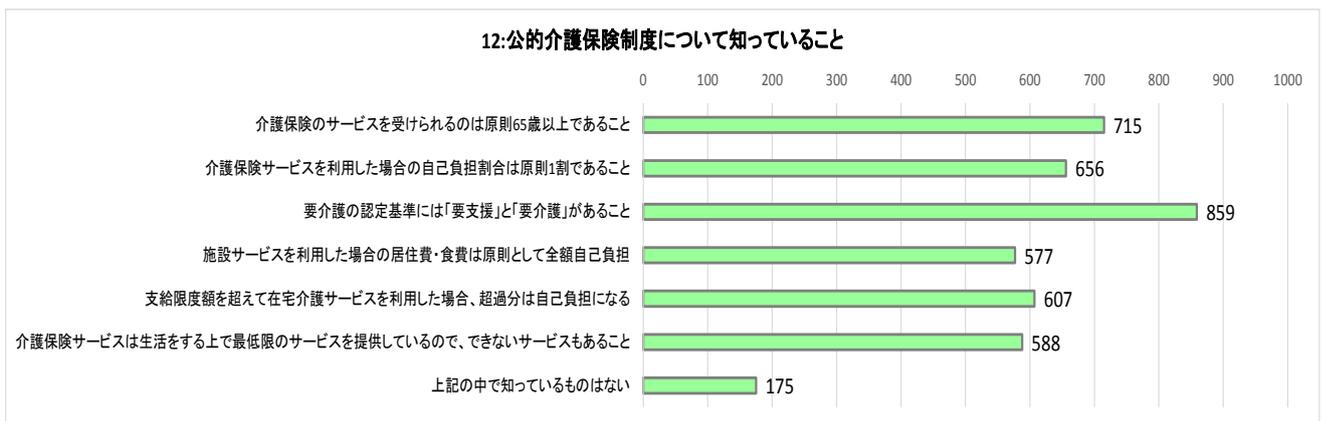
**介護休業制度を利用しながら仕事を続けたい人は 77%**

## 5. 介護の基本的な知識について

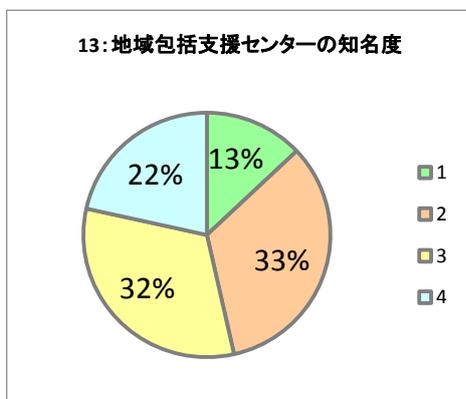
Q11：あなたは、公的介護保険制度の被保険者ですか。



Q12：あなたは、公的介護保険制度のことについてご存知ですか。知っている内容を全てお選びください。



Q13：あなたは、地域包括支援センターのことについてご存知ですか。

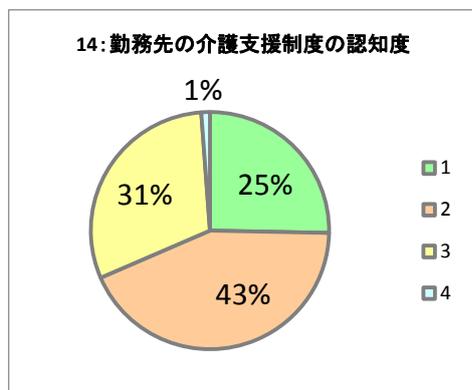


### 【左記項目】

1. 利用したことがあり、名称も利用方法も知っている
2. 利用したことはないが、名称について聞いたことがあり利用方法も知っている
3. 名称について聞いたことがあるが、利用方法は知らない
4. 名称も利用方法も知らない

**地域包括支援センターの利用方法を知らない人 54%**

Q14：あなたの勤務先の介護に関する支援制度について、どの程度知っていますか。



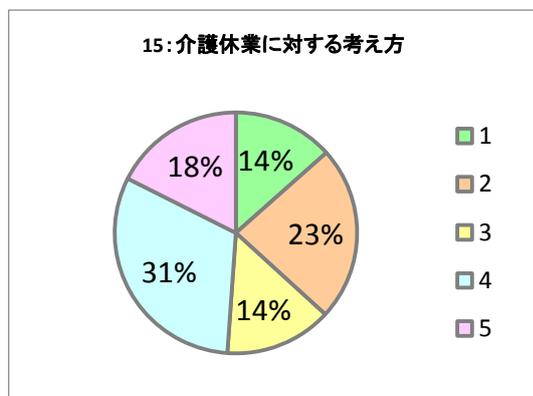
【左記項目】

1. どのような制度があるかは知っており内容もおおよそわかる
2. 制度があることは知っているが、内容はわからない
3. 制度があるかどうかわからない
4. 制度はない

**勤務先の介護支援制度について、内容はわからない、制度があるかどうかわからないと答えた人は 75%**

Q15：介護休業に対するあなたの考え方をお聞きします。あなたの考えにもっとも近いものをお選び下さい。

- A. 介護休業期間は主に仕事を続けながら介護をするための体制を構築する期間である
- B. 介護休業期間は介護に専念するための期間である



【左記項目】

1. A
2. どちらかというともA
3. どちらともいえない
4. どちらかというともB
5. B

#### 【介護休業とは】

「介護休業（93日）」は労働者本人が介護を行うこと（上記B）を目的とはしておらず、仕事と介護の両立のための準備期間（上記A）として位置づけられています。復職後に自分ひとりで介護を続け、いずれ退職せざるを得なくなってしまうのを、介護休業中に両立に向けた準備をしっかりと行う期間です。

### III. 調査結果の概要

#### 1. アンケート調査より

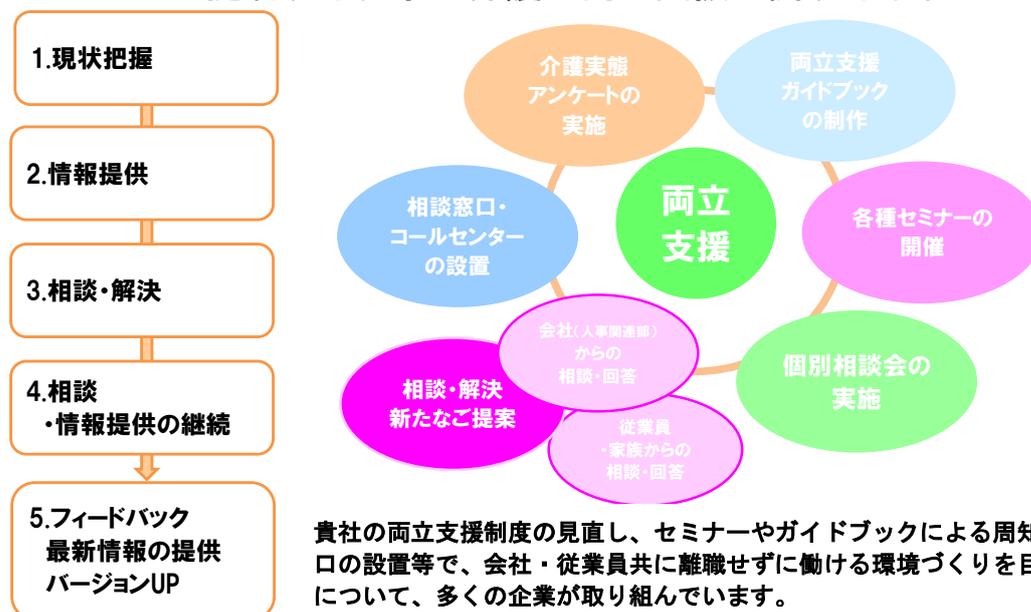
- ・年代別では介護者世代である40代～60代は全体の64.9%
- ・5年以内に介護をする可能性がある従業員は全体の70.0%となっている。
- ・介護をすることについて不安な従業員は全体の86.0%

従業員が介護に対する不安を感じている背景には「介護がいつまで続くか分からず、将来の見通しが立てにくいこと」「経験がないために漠然とした不安がある」「収入が減る」「代替要員がおらず、介護のために仕事を休めないこと」等が主にあげられていた。

また、従業員全体の 75%の方が、勤務先の介護支援制度について内容が分からない、制度があるかどうか分からない、と答えている。 また一方で、介護休業制度を利用しながら、仕事を続けたい人は77%にのぼる。 介護離職を防ぐためにも、福利厚生制度について周知・環境整備等が必要と思われる。

介護は急にやってきます。アンケート結果をふまえ、介護離職の不安を払拭し、課題認識を持って取り組むことが仕事と介護の両立に向けた第一歩と考えられます。

#### 2. ユメコムが提唱する仕事と介護の両立支援に関する取り組み



貴社の両立支援制度の見直し、セミナーやガイドブックによる周知、相談窓口の設置等で、会社・従業員共に離職せずに働ける環境づくりを目指すことについて、多くの企業が取り組んでいます。